



雪上レクリエーション大会 (1月17日)

主な内容

- 新しい年のはじめに ..... ②③
- 小池市長の市政報告  
・加茂市の地方創生交付金事業について..... ④⑮
- 税に関する作文・標語 ..... ⑮
- 市民囲碁・将棋大会 ..... ⑮
- 元旦マラソン・総体の結果 ..... ⑰
- 加茂の風土記「加茂中学校校歌」..... ⑱

百年に一度の唯一の好機！

新加茂病院に産科の個室 20室を確保した！ 妊婦の方々は、皆 個室を希望しています。

新加茂病院の隣りに病児保育施設を確保した！ お金は加茂市と田上町が負担！

この二つこそ絶対必要な少子化対策！

産科の個室が1つでは、医師も妊婦もやって来ず、産科は実現しません。



## 新しい年のはじめに



加茂市長

小池清彦

新年あけましておめでとうございます。

謹んで市民の皆様には新年のお慶びを申し上げます。皆様方におかれましては、今年一年、何とぞますます御健勝で御多幸の日々をお過ごしください。よう、心からお祈り申し上げます。

本年も市民中心の真の民主的市政をさらに推進し、これまでに到達した市政の高い水準をさらに高め、充実させてまいりたいと存じますので、何とぞよろしく御指導くださいますようお願い申し上げます。

「市民と市長の『よもやま話』の日」には、本年も市民の皆様のお越しを心からお待ち申し上げます。

昨年は、新加茂病院にシャワー、トイレ付きの産科の個室二十室を確保することができました。

また、加茂病院の敷地の隣接地に加茂市と田上町で立派な病児保育施設を造り、新加茂病院からその施設まで、県がアーケードを造ることになりました。

この結果、女性の方々と子育て世代の方々を最高にお幸せにする道が開けました。

この勢いで、今年平成二十八年がお一人おひとりの加茂市民の皆様にとって最高にお幸せの年となりますよう努力して参りたいと存じます。

今年は六月六日に加茂文化会館でウィーン少年合唱団の公演が行われます。

また、五月二十九日には、同じ加茂文化会館でNHKの「のど自慢」の公演があります。

御期待ください。

# 市政報告

加茂市長 小池清彦

## 加茂市の地方創生交付金事業について

政府は、二十六年度に地方創生と称して、地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金を加茂市に一億三百九十一万七千円交付して来ました。この交付金は、平成二十六年度補正予算に計上し、二十七年度に繰越して使用するものですが、国は二十七年度にさらに一千万円追加交付して来ましたので、この交付金の合計は、一億千三百九十一万七千円となります。そしてこの交付金は、地域消費喚起・生活支援型五千八百七十一万六千円と地方創生先行型五千五百二十万一千円から成っております。

この地方創生交付金をどのように使うかにつ

いては、内閣府に地方創生推進室という室が置かれ、各市町村は、実施したいプロジェクトを一つこの地方創生推進室に伺いをたてて、その了解をとり、あるいは、修正してもらったりしながらやっていくというやり方がとられました。

ところが、この内閣府地方創生推進室には極めて優秀な国の官僚が多数配置されておりまして、伺いをたてるたびに、すぐに的確な返答がまいりました。

ことに加茂市は、他の市町村ではやっていない先進的事業をたくさんやっておりますので、それらの事業をこの地方創生交付金でやりたいという伺いをたてると、ほとんどすべてOKの返事がやっております。

このようにして、平成二十七年度に加茂市が実施した、地方創生交付金事業は、次のとおりであります。

地方消費喚起・生活支援型 五千八百七十一万六千円  
プレミアム商品券（三割のプレミアム） 三千五百万円

農機具購入費補助 八百七十一万六千円  
在宅介護料・看護料の無料化 千五百万円

地方創生先行型 五千五百二十万一千円

不妊治療、妊産婦医療費、子ども医療費、私立幼稚園・保育園運営費補助 二千五百二十万一千円  
加茂市史編さん、加茂和紙復活、中学校茶道部創設 七百万円  
タンス、屏風、建具、鉄工業販路開拓 五百万円  
企業の新設・増設支援 一千万円  
里山遊歩道整備 八百万円

今後の地方創生事業につきましても、各市町村が地方創生総合戦略を策定して、個々の事業について、国に伺いをたてながら実施して行くことになっております。

加茂市では、平成二十七年十月に、「加茂市まち・ひと・しごと創生総合戦略」をつくりました。その中で、次の七つの基本目標を掲げております。

- (一) 国全体の施策：国の金で育児休業を三年とれるようにすること等
- (二) 安心して子どもを産み育てることができる環境づくり
- (三) 高齢者も幸せに暮らせるまちづくり
- (四) 障害者にやさしいまちづくり
- (五) ふるさとに対する誇りを高める施策の推進
- (六) 日本人のたしなみとしての技艺教育を振興し、小京都加茂に対する愛着と誇りをかん養する。雪国に生まれ育った人間のたしなみとしてのウインタースポーツの教育の振興。

#### (七) 農業の振興

次に、平成二十七年十月に策定した「加茂市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を掲げます。

# 加茂市まち・ひと・しごと創生総合戦略

平成27年10月

## 加茂市まち・ひと・しごと創生総合戦略

1	策定方針	8
2	位置づけ	8
3	対象期間	8
4	政策の目標と基本的方向	9
	基本的理念	
	基本目標	
	(1) 国全体の施策	9
	(2) 安心して子どもを産み育てることができる環境づくり	10
	(3) 高齢者も幸せに暮らせるまちづくり	11
	(4) 障害者にやさしいまちづくり	12
	(5) ふるさとに対する誇りを高める施策の推進	13
	(6) 日本人のたしなみとしての技芸教育を振興し、小京都 加茂に対する愛着と誇りをかん養する。雪国に生まれ 育った人間のたしなみとしてのウィンタースポーツの 教育の振興。	14
	(7) 農業の振興	15
5	P D C Aサイクルの確立	15

## 1 策定方針

加茂市はこれまで他の市町村に先駆けて先進的な施策を実施してきた。これを実施し続けているところである。この度、加茂市が実施している数々の先進的な施策を含め総合戦略を策定するものである。

## 2 位置づけ

本戦略は、「まち・ひと・しごと創生法」第10条に基づき、国の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」と新潟県の「総合戦略」を勘案し、「加茂市人口ビジョン」による分析を踏まえ、加茂市の今後5か年の目標や施策の基本的方向、具体的な施策を示すものである。

## 3 対象期間

本戦略の対象期間は、平成27(2015)年度から平成31(2019)年度までの5年間とする。



## 4 政策の目標と基本的方向

### 基本理念

「加茂市民が幸せで住み続けたいとなるまちづくりをし、人口の流出を抑制する」

### 具体的な政策について

#### (1) 国全体の施策

加茂市が実施している数々の先進的な施策を含め総合戦略を策定し推進していくにあたり国全体として次の支援が必要であり、積極的に提案・要請していく。

- 1 地方交付税（臨時財政対策債を含む。）を20%アップすること
- 2 少子化対策として、官庁だけでなく全国で育児休業を3年とれるようにし、給料相当額を全て国が出すこと
- 3 緊急雇用対策の資金として制限付きでない自由な金を出すこと

## (2) 安心して子どもを産み育てることができる環境づくり

**数値目標**：・ 毎年の出生数：年間 200 人 5 年間で 1,000 人  
 ・ 合計特殊出生率をあげる：H25 年 1.41 → H32 年 1.45

### 基本的方向

- 出産から子育てまで切れ目なく様々な助成を行い支援することで、子どもを育てやすい環境を作って、合計特殊出生率を向上させる。
- 子育て中の働く女性を支援することで、世帯あたりの子供の数を増やす。
- 少子化対策として国から全額金をもらって3年間育児休業手当を支給する。この手当は、給料全額に相当する額とする。

主な施策と具体的な事業	2020 年 KPI (成果目標)
県内トップクラスの子ども医療費助成を行う。 [具体的な事業] (子ども医療費助成事業費)	出生数 前年より増加
妊娠から出産まで助成を行い支援する。 [具体的な事業] (不妊治療費助成事業費) (妊産婦医療費助成事業費)	出生数 前年より増加
幼稚園・保育園の運営を補助する。 [具体的な事業] (私立保育園運営費補助金) (私立幼稚園運営費補助金) (保育園の保育料の軽減) (幼稚園の保育料(利用者負担額)の補助)	①出生数 前年より増加 ②3歳未満児の利用 増加
児童館を充実する。 [具体的な事業] (児童館の充実)	出生数 前年より増加
世帯あたりの子どもの数を増やす。 [具体的な事業] (誕生祝金)	第3子以降の子どもの数 5年間で200人
加茂病院に個室20室の産科を復活する。	加茂病院での出生数 年間 500～800人
加茂病院に病児・病後児保育施設を設置し、運営する。 運営規模 保育士3人 看護師1人 病児5人 病後児5人 最大収容人数18人	病児・病後児保育利用者延べ人数 年間 3,650人

### (3) 高齢者も幸せに暮らせるまちづくり

**数値目標**：転出者：前年より減少  
転入者：前年より増加

#### 基本的方向

- 医療・福祉を充実し、高齢者も幸せに暮らせるまちづくりを行うことで、若い人も安心して年を重ねられるまちをつくる。その結果として人口の流出を抑制し、一度転出した「加茂市生まれ」の人の流入を促す。

主な施策と具体的な事業	2020年 KPI (成果目標)
高齢者が、介護が必要な状態になっても加茂市で暮らしていけるように利用しやすい介護サービスを充実させる。 [具体的な事業] (訪問看護・ホームヘルプ・訪問リハビリテーション利用料を全額助成)	ヘルパー70人以上と訪問看護師数4人以上を堅持する
第四平成園を早期に完成させる。	構想の策定

#### (4) 障害者にやさしいまちづくり

**数値目標**：転出者：前年より減少  
転入者：前年より増加

##### 基本的方向

- 医療・福祉を充実し、障害者も幸せに暮らせるまちづくりを行うことで、安心して年を重ねられるまちをつくる。その結果として人口の流出を抑制し、一度転出した「加茂市生まれ」の人の流入を促す。

主な施策と具体的な事業	2020年 KPI (成果目標)
障害者が、介護が必要な状態になっても加茂市で暮らしていけるように利用しやすい介護サービスを充実させる。 [具体的な事業] (訪問看護・ホームヘルプ・訪問リハビリテーション利用料を全額助成)	ヘルパー70人以上と訪問看護師数4人以上を堅持する

## (5) ふるさとに対する誇りを高める施策の推進

- 数値目標**：
- ・ふるさと愛が増した人の割合　：増加
  - ・20代の若者の転出者数　：前年より減少
  - ・地元就職説明会への参加者数　：前年度より増加
  - ・ふるさと回帰する者の数　：60歳代の転入増

### 基本的方向

- 進学、職業に対する知識を深めた後で、加茂市に戻って生活できるように大企業をはじめとした多様な仕事の受け皿をつくる。
- ふるさとの伝統・文化に対する理解を深めることで、ふるさとを愛する人を増やして転出者数を抑制する。
- 加茂市の美しい自然を整備して人を呼び込むことで、観光業や林業でしごとをつくり、地域への定住を促進する。

主な施策と具体的な事業	2020年 KPI (成果目標)
大企業誘致特区の認定を目指し、これにより大企業の誘致を行う。 [具体的な事業] (企業設置奨励事業費)	大企業誘致件数 1件
加茂和紙の紙漉き技術を保存、振興する。 [具体的な事業] (紙漉き技術保存振興事業費) (紙漉き技術後継者育成事業)	和紙を商品化する 後継者 1人→2人
加茂市史を編纂し、ふるさとの歴史に対する理解を深める。 [具体的な事業] (市史編さん費)	完成・出版する
桐たんす・建具を中心に木工業の販路開拓を推進する。 [具体的な事業] (桐タンス・建具等販路開拓事業費)	販路を1つ増やす
粟ヶ岳・加茂山周辺の遊歩道、登山道を整備する。 [具体的な事業] (里山遊歩道整備事業)	粟ヶ岳県民休養地 入込客数 年 10,000人 加茂山公園 入込客数 年 28万人
ふるさと納税を推進する。加茂市の物産品を返礼品として差し上げる。	ふるさと納税額 年間 1,000万円

- (6) 日本人のたしなみとしての技芸教育を振興し、小京都加茂に対する愛着と誇り  
をかん養する。雪国に生まれ育った人間のたしなみとしてのウィンタースポーツ  
の教育の振興。

数値目標：転出者数：前年より減少

基本的方向

- 日本人のたしなみとしての技芸教育を振興し、小京都加茂に対する愛着と  
誇りをかん養する。雪国に生まれ育った人間のたしなみとしてのウィンタ  
ースポーツの教育を振興する。

主な施策と具体的な事業	2020年 KPI (成果目標)
<p>日本人のたしなみとしての技芸教育を振興し、小京都加茂に対する愛着と誇りをかん養する。雪国に生まれ育った人間のたしなみとしてのウィンタースポーツの教育を振興する。</p> <p>[具体的な事業] (武道の授業、茶道のクラブ活動、華道のクラブ活動、書道のクラブ活動、美術のクラブ活動、邦楽のクラブ活動、詩吟のクラブ活動、スキーのクラブ活動)</p>	<p>左記のクラブ活動に参加する生徒数の増加</p>

## (7) 農業の振興

**数値目標**：認定新規就農者数：毎年1件 5年間で5件  
農業者及び農地の減少を食い止める  
後継者の数を増加させる

### 基本的方向

○加茂市で農業をやりたいと思えるように担い手の育成や、加茂市でがんばる農家を支援する。

主な施策と具体的な事業	2020年 KPI (成果目標)
農機具購入を補助する。 [具体的な事業] (農林業総合振興事業費)	認定新規就農者数 毎年1件 5年間で5件 農業者及び農地の減少を 食い止める 後継者の数を増加させる

## 5 PDCA サイクルの確立

総合戦略については、基本目標及び重要業績評価指標（KPI）を設定しているため、PDCAの取り組みを通じて、その進捗度の検証、見直しを行っていくものとする。検証、見直しについては、指標に基づきおおむね2年に一回程度評価を実施し、民意を反映させるため、市長の任期に合せ4年に1回の見直しを基本とし、社会経済情勢にあわせて随時見直しを行って成果重視型の行政運営を推進していく。

検証・見直しに際しては、その妥当性・客観性を担保するために、外部有識者で構成される加茂市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議を活用するものとする。

# 税に関する作文・標語

## 加茂市租税教育推進協議会

「税」の仕組みと役割りについて、知識と関心を高めてもらおうと作文と標語を募集したところ、作文に二百五十点、標語に六百五

### ■作文

【新潟県納税貯蓄組合総連合会 優秀賞】

「「税」にささえられて」齋藤淑人（葵中三）

【三条税務署長賞】

「税金と暮らし」坪谷怜奈（若宮中三）

【関東信越税理士会三条支部長賞】

「私たちの将来のために」児玉あんず（加茂中三）

【加茂市租税教育推進協議会長賞・優秀賞】

「税金から考えること」吉原未菜美（加茂中三）

「税について」藤井舞雪（葵中三）

「税と今の生活を見つめて」小林将也（若宮中三）

「「税」について見つめなおす」知野明斗（須田中三）

「国の借金と税」清田唯聖（七谷中三）

「：増税か。」酒井梨花（加茂農林高二）

「未来のための投資」中丸 栞（加茂暁星高一）

### ■標語

【加茂市租税教育推進協議会長賞・優秀賞】

「考えよう税金あつての豊かな暮らし」土田優衣（加茂中二）

「咲かせよう税と人とでいい未来」鈴木千里（加茂中二）

「支えられ未来は私が支える番」児玉あんず（加茂中三）

「身のまわりはくらは税で生きている」水科玄馬（葵中二）  
 「知らぬ間に、国民助ける、それが税」阿部祐奈（葵中二）  
 「僕らこそ知らねばならぬ「税」の意味」齋藤淑人（葵中三）  
 「花咲くよ理想の未来納税で」坪谷栞南（若宮中一）  
 「被災地へあなたの税が救いの手」諸橋知也（若宮中二）  
 「にぎわいで溢れる街を税金で」川口 萌（若宮中三）  
 「税があるだから暮らせる幸せに」小柳加奈里（七谷中二）  
 「税金で作ろう良い町良い笑顔」小林 葵（七谷中二）  
 「小さな税そこから生まれる大きな力」小柳 柊（七谷中三）  
 「納税で明るい未来を次の世代へ」武石歩華（須田中一）  
 「税金で未来を創る私たち」渡辺幸依（須田中二）  
 「ふと気付く この幸せは 税金から」石黒壮真（須田中三）

## 新春市民囲碁大会

期 日 一月十日

会 場 中央コミュニティセンター

参加者 三十六人

【Aクラス（四段以上）】①佐藤正彦・新潟日報杯（第二十三区）②大関勝正（小橋一）③齋藤敏一（三条市）

【Bクラス（二〜三段）】①小林幸嘉（後須田第二）②松原茂樹（駅前）

③田沢哲三（新潟市秋葉区）

【Cクラス（級位〜初段）】①渡辺喜郎（田上町）②坪谷廣一（上三区）

③野口和幸（田上町）

## 新春市民将棋大会

期 日 一月二十四日

会 場 中央コミュニティセンター

参加者 二十九人

【Aクラス（初段以上）】①渡辺進（高須町二）②遠藤孝（芝野）③桑原茂（幸町一）

【Bクラス（級位）】①松沢正・新潟日報杯（中興野）②山岸欣助（赤谷）③遠藤経三（若宮町一）

【Cクラス（その他）】①藤田勝（下興屋向）②田澤弘一（新栄町）

③佐野正範（後須田第四）

【子どもの部】①佐野正成（須田小）

②知野勇登（加茂小）③山口恭平（加茂小）



## 第37回

### 加茂市元旦マラソン大会

今年の元旦マラソンは気温6℃、時折日差しが差し込む中でスタートしました。スタートからゴールまで、初詣のお客様からも声援を受けながら、出場した九十九人全員が完走しました。結果は次のとおりです。

【2.8 kmコース】▼小学3・4年男子の部①鶴巻陽太13分7秒(加茂Jr陸上・七谷小)②金塚大和(石川小)③皆川武蔵(石川小)▼小学3・4年女子の部①小嶋流梨14分44秒(スポ少ドッジ・羽生田小)②塩原摩也(加茂小)③佐藤つきの(さいたま市)▼小学5・6年男子の部①高橋慶10分44秒**最優秀選手賞**(加茂Jr陸上・石川小)②関川祥太(加茂Jr陸上・石川小)③井上卓哉(下条小)▼小学5・6年女子の部①小野澤紀伽13分2秒(スポ少ドッジ・羽生田小)②横井美沙希(加茂Jr陸上・石川小)③高橋ひかる(加茂Jr陸上・石川小)▼中学男子の部①飯岡永悠9分51秒(若宮中)②小柳洗平(七谷中)③酒井俊輔(須田中)▼中学女子の部①石平歩那11分45秒**最優秀選手賞**(加茂中)②高田優心(附属

長岡中)③皆川いろは(加茂中)▼一般高校女子の部①小嶋のどか13分49秒(加茂Jr陸上)②皆川敬子③田澤由美子▼一般男子(40歳以上)の部①松原克明11分14秒②皆川雄一③東樹務(Sunrock)

【4.9 kmコース】▼一般高校男子の部①鶴巻史暉16分12秒(開志国際高)②船久保徹(FRC)③有本亮輔(新潟大学探検部)



## 総体結果



### スキー競技

期日 一月三十一日

会場 冬鳥越スキーガーデン

※選手の所属にうち、加茂スキークラブを「加茂SC」で掲載しました。



#### 【回転】

▼小学生男子の部①田邊奏佑(下条小)②荒牧友寧(下条小)③矢部彰規(下条小)▼小学生女子の部①菊田琴音(七谷小)②高橋果桜子(下条小)③阿部楓果(七谷小)▼中学生男子の部①矢部朋載(葵中)▼青年(〜29歳)の部①目黒広大(株桑田屋スポーツ)▼成年1(〜39歳)部①櫻庭秀光(加茂SC)②石澤暁生(加茂SC)③木村寛次(シダチヨ1建設株)▼成年2(〜49歳)部①小柳毅(株長沢)▼成年3(〜59歳)部①諸橋利彦(株吉田組)②茂野孝(株長沢)③川口清(株アイム環境ビル管理)▼壮年1(〜69歳)部①坂井裕(加茂SC)②近藤敏昭(加茂SC)③梅田茂(加茂SC)▼壮年2(70歳〜)部①小柳仁策(太平洋堂)②阿部勝男(加茂SC)

#### 【大回転】

▼小学生男子低学年①田邊奏佑②荒牧友寧③阿部翔(七谷小)▼小学生女子低学年①高橋果桜子②梅田ひなの(七谷小)③菊田涼音(七谷小)▼小学生男子高学年①矢部彰規▼小学生女子高学年①梅田美咲(七谷小)②阿部楓果③菊田琴音▼中学生男子の部①矢部朋載▼青年の部①目黒広大▼成年1(〜39歳)部①櫻庭秀光②木村寛次③石澤暁生▼成年2部①小柳毅▼成年3部①諸橋利彦②茂野孝③川口清▼壮年1部①坂井裕②松原直人(株桑田屋スポーツ)③近藤敏昭▼壮年2部①小柳仁策②阿部勝男③佐野治夫

#### 【滑降】

▼1部(〜39歳)①木村寛次②櫻庭秀光③石澤暁生▼2部(40歳〜)①諸橋利彦②小柳毅③近藤敏昭

# 戦後早々に制定された加茂中学校校歌

加茂中学校が校歌を制定したのは、開校翌年の未だ独立校舎もなく、加茂小学校に間借りをしてきた昭和二十三年（一九四八）二月七日である。加茂市内はもちろん近隣の中学校で一番早い。

中越地区では、昭和二十年代に校歌を制定した中学校は三十校を数える。加茂中学校と柏崎の中通中学校が二十三年の制定で、三条第二中学校・見附中学校・田上中

学校など七校が二十四年の制定だという（『校歌の風景』折原明彦著）。もともと中通中学校は平成七年に閉校し、二十三年の校歌制定は加茂中学校だけとなった。

加茂中学校の校歌は、制定当時から格調の高い歌詞と荘厳な曲として卒業生の記憶に残る（『創立五十周年記念誌』）。作詞は京都大学名誉教授の吉沢義則（一八七六～一九五四）で作曲は信時潔

（一八八七～一九六五）である。

吉沢は名古屋市出身、源氏物語の研究で著名な国文学者である。

加茂中学校初代校長の小松辰蔵が作詞を依頼した。『日本文学全史』の編集で吉沢と旧知の大久保正（大久保 寛加茂高等女学校元校長の次男）が仲介したと思われる。

信時は大阪府生まれで東京音楽学校に学び、同校教授となった。

戦前の軍歌「海ゆかば」の作曲者として知られるが、学習院大学や専修大学をはじめ全国各地の校歌も多く作った。県内でも、新津高校・本成寺中学校・白山小学校などがある。

信時の夫人ミイの実家が穀町の有本商店だったことから、当時の当主有本為吉が加茂中学校の校歌作曲を斡旋した（「加茂中学校沿革史」）。この縁で、信時潔は加茂高校の二代目校歌や下条小学校の二代目校歌の作曲も手掛けている。

吉沢と信時コンビの校歌は、加茂中学校のほか京都市の修学院中学校など全国で六校を数える。

（長谷川昭一）

## 加茂の風土記

### 校歌

吉沢義則 作詩  
信時 潔 作曲



- 1 自然の運行 君見ずや  
自由ながらに 規律あり  
私慾なければ 平らかに  
花開きつつ 紅葉つつ  
四六時中を 明けくれて  
衰れを知らぬ 天地の  
大き姿を 見よや君
- 2 月を流せる 加茂川の  
清き心を 心にて  
名も青海の いや深く  
知行をみがき 身を鍛え  
自然を友に 高々と  
民主の旗を おし立つる  
我等ぞ加茂の 中学生

### 人口のうごき

1月1日現在  
世帯 10,287 (-4)  
人口 28,701 (-40)  
男 13,922 (-15)  
女 14,779 (-25)  
( )内は前月比  
(12月異動分)  
出生 9 (男7女2)  
死亡 42 (男21女21)  
転出 31 転入 24